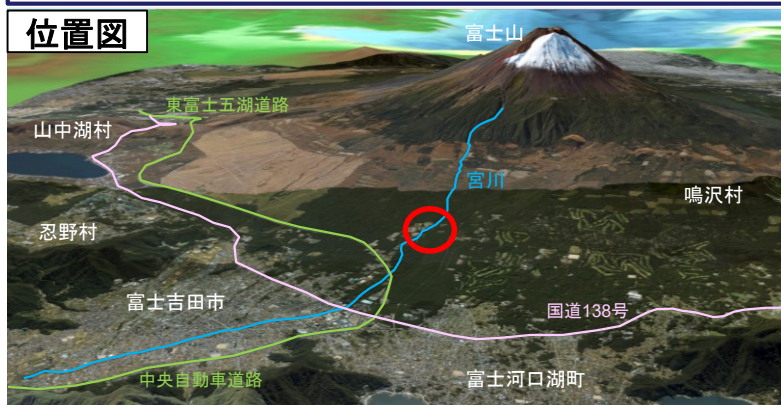


みやがわ えんてい
ふじよしだし かみよしだ
宮川堰堤工が土砂を捕捉し被害を防止(富士吉田市上吉田)

災害発生日：令和3年3月21日
降雨状況：連続雨量 258mm(3月21日1時～21日20時)
時間最大雨量 31mm(3月21日15時～16時)
※大滝雨量観測所(国土交通省設置：山梨県南都留郡鳴沢村：大沢川上流)

発生箇所：山梨県富士吉田市(宮川)
崩壊状況：土石流捕捉量 約5,000立方メートル
状況：3月21日の降雨で宮川において土砂移動が発生しましたが、砂防施設(宮川堰堤工)で土砂を捕捉したため、被害はありませんでした。宮川堰堤工で捕捉した土砂量は約5,000立方メートルでした。

位置図



詳細図



富士山直轄砂防事業は、平成30年度から北麓(山梨県側)にも着手し、富士山火山噴火緊急減災対策として令和2年度までに宮川砂防堰堤で約5.6万m³の除石を行った結果、下流の東富士五湖道路や市街地への被害を防止しました。

